

土木職員の活躍フィールド

安全・安心なインフラ、まちづくりを通じて市内各地で市民生活を支えています

多くの土木職員は、インフラを支える部門、まちづくり部門に配属され市民生活を支えています。それぞれの部門の現場事務所では、市民生活と安全を支える維持管理と必要な施設整備を進めています。工事の設計（部門によっては本庁舎）から、地元説明、施工業者の監督までを行います。学生時代に学ぶ、土木工学の知識に加え、行政としての調整力や専門の法律知識も必要になります。本庁舎では、出先事務所で行う事業計画作成、その予算管理や国からの予算獲得など主に調整をしています。様々な経験を積みながら、知識・見識を深め、活躍の舞台を広げていきます。



様々な分野で土木職の力を発揮

土木職員のまちづくりに関する知識や経験、総合的な調整力は、インフラ部門以外にも様々な分野で重宝され、その能力を発揮しています。土木以外の知識、経験を経て、行政職員としての能力も高めていきます。

神戸市の総合計画作成 (企画調整局)	災害時の司令塔 (危機管理室)
地域課題の解決 (区役所)	造成地への企業誘致 (経済観光局)

土木職員の能力

市外でも神戸市職員として活躍

神戸市職員の活躍の場は「神戸市内」とは限りません。国土交通省をはじめとした国の省庁や関連団体（東京）への出向や、災害時の被災地への復興活動への派遣される職員もいます。神戸市職員としての誇りと使命感をもって、国の発展や被災地復興に尽力しています。たくさんの地方自治体の職員が神戸の復興に力を貸してくれたように、神戸市も支援しています。

神戸市での働きがい ～県や他の大都市にも負けない魅力

女性土木職の躍動

建設業界では女性技術者の活躍が目立っていますが、神戸市役所もその傾向が見られます。現場の第一線での土木工事に、課長・係長として組織のリーダーに、男女関係なく様々な分野で活躍しています。それに伴い、子育て・仕事の両立できる環境が整備されています。

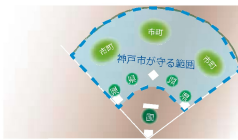
▶▶ 年代別女性土木職 (2021.04 時)

20代以下	29人
30代	34人
40代以上	5人



県にはない市民密着

インフラ部門の仕事は、ほとんどの部門において兵庫県と対等の立場で、同じ範囲を所掌しています。例えば道路であれば、市域の高速道路は神戸市が調整し、一部の国道や県道も神戸市が管理しています。一方で、県では管理しない生活道路から田んぼ道まで管理しています。広域的な県の守備範囲から市民密着の市町村のものまで、より広い範囲を守る能力が求められます。



他都市にない神戸らしさ

同じ大都市である大阪市や京都市とは、業務内容は近いように感じます。時に「大阪・京都に負けるな」とライバル関係になり、時に関西を牽引する仲間として一緒に仕事をすることもあります。それぞれの都市がその魅力を活かすまちづくりを進めており、それに伴って組織づくりや事業内容に特色が表れています。大阪は近畿圏の中心として、京都は古都・観光都市といった特色を活かすまちづくりを進めています。神戸もそれに負けない「港町」を活かし、若者に選ばれる魅力的なまちづくりを進めています。神戸らしさは職員の情熱と創造性があるからこそ生まれるものです。「職員が生き生きと躍動する市役所」それも神戸らしさです。



100年先まで神戸を守り、育てる仕事

神戸市土木職員の仕事と働く姿を紹介します



神戸市人事委員会

神戸市総合コールセンター TEL: 078-939-3350 FAX: 078-939-3314
神戸市広域印刷物発給 令和3年度 第544号広域印刷物規格B-1

神戸市 職員採用 検索



神戸の未来をつくる 先輩職員たち

都心・三宮 誰もが楽しく歩ける都心・三宮に向けて



芳永 有梨
平成 30 年入庁
建設局道路計画課
都市局都心再整備本部都心三宮再整備課
未来の神戸市職員へ
一緒に神戸の未来を作りましょう！

現在の仕事

「人が主役の居心地の良いまち」をコンセプトに掲げ、神戸の玄関口である都心・三宮の再整備を進めています。そのなかで、私は再整備の空間デザインに関する方針作成や設計、各事業の総合的なデザイン調整を行う会議の運営等を担当しています。
現在、多くの事業が進行中ですが、相互に調整しながら一体的で魅力的な空間を整備することが大事です。また、この一大プロジェクトを進めるには、民間事業者や学識者の方々にもご協力いただくことが必要不可欠です。このような事業間の調整、関係者の連携を念頭に置きつつ、誰もが心地良く過ごることができるまちとはどのようなものが常に意識しながら仕事に取り組んでいます。

印象に残っていること

イベントにて都心・三宮の再整備のPRを行うブースを出展した際の出来事です。私が今後の事業展開についてお話をすると、「楽しそうですね！」とお声かけていただいたり、さらに質問を投げかけて下さったりと、想像以上に皆様がこの再整備について興味を示されていたことがとても印象的でした。市民や来街者の方々の生の声を聞くことができた貴重な体験となりました。より一層このお仕事へのモチベーションが上がりました。



道路・防災 安心して暮らせる神戸のまちに

森井 健介

平成 29 年入庁
都市局都市計画課
建設局北建設事務所
未来の神戸市職員へ
安心して暮らせる神戸のまちと一緒に作りましょう！



現在の仕事

六甲山の北側に位置する北区内の道路の防災対策、改良工事を担当しており、工事の設計、監督業務を行っています。建設事務所は、市民の安全を守る現場の最前線です。道路や河川等の工事を行うことに加えて、市民の方からの通報を受けて現場に出動したり、豪雨発生時の通行規制や災害復旧作業も行っています。若手が多く活気のある職場で、民間企業経験者もいるため、互いが持っている知識や経験を活かしてチーム一丸となって日々業務に取り組んでいます。

印象に残っていること

初めて監督を担当した六甲山エリアの防災対策工事を無事完了したことです。人生で初めて経験する仕事で、分からないことがばかりであったため、工事関係者や関係機関との調整に苦労することもありました。設計通り通りに施工がなされているかの確認、関係機関との調整や市民への説明など、責任ある仕事も多いですが、1つ1つステップアップできるように日々、取り組んでいます。



下水道 神戸の発展と暮らしを支える下水道をめざして

多田 浩紀

平成 30 年入庁
建設局下水道部管路課
建設局水環境センター管理課
未来の神戸市職員へ
安全・安心な住みやすい神戸のまちをともに作りましょう。



現在の仕事

老朽化した公共下水道管の改築新工事で大雨による浸水からまちを守る雨水管の整備事業などに関する工事監督業務を行っています。下水道は市民の暮らしに直結するインフラで、工事の完了＝安全・安心なまちづくりに繋がります。設計通り通りに施工がなされているかの確認、関係機関との調整や市民への説明など、責任ある仕事も多いですが、1つ1つステップアップできるように日々、取り組んでいます。

印象に残っていること

市街地における工事で、市民の方から声をかけられた出来事や印象に残っています。下水道施設は地下に埋設されているものが多いので、道路や橋梁などの土木構造物とは違い、工事の完了後も市民の目に触れる機会が多くありません。それでも工事監督中に直接、市民の方から劣いの言葉や感謝の言葉も聞かれました。中には、市民の暮らしに必要な事業に携わっており、安全・安心な住みやすい神戸のまちづくりに貢献していると感じ、やりがいを感じました。



港湾 日本を代表する港湾を目指して



盛沢 里穂
平成 30 年入庁
みなと総局計画部港湾計画課
港湾局工務課
未来の神戸市職員へ
市民に親しまれる「港湾・神戸」一緒に作りましょう！

現在の仕事

主に、港湾エリアにおける道路や岸壁、メリケンパークなどの緑地等の施設整備や改修を担当しており、それらに係る調査・設計・積算・工事監督を行います。今年度、レガッタ等の乗降施設を整備しました。計画課所屬時に計画段階から携わっていたため、自分が思い描いていたものが現実に完成した瞬間は、とても感動しました。計画課では、自分のアイデアが事業として形になっていくことややりがいを感じましたが、工務課では構造物が完成していく様子を最前線でみることができ、土木職ならではのやりがいを感じることができました。



印象に残っていること

入庁 2 年目に、2 つ目となる BE KOBE モニュメント設置に携わったことです。初めての現場で知識や経験もない中、レガッタ等の乗降施設を整備しました。計画課所屬時に計画段階から携わっていたため、自分が思い描いていたものが現実に完成した瞬間は、とても感動しました。計画課では、自分のアイデアが事業として形になっていくことややりがいを感じましたが、工務課では構造物が完成していく様子を最前線でみることができ、土木職ならではのやりがいを感じることができました。



危機管理 150 万人を守る使命



福井 涼平
平成 30 年度入庁
建設局中部建設事務所
危機管理室計画担当
未来の神戸市職員へ
「防災」こそ土木が活躍できるフィールドです！
市民の安全・安心を共に守りましょう！

現在の仕事

神戸市を自然災害や事故災害など様々な「危機」から守るための、「神戸市地域防災計画」を策定する仕事をしています。行政・事業者・市民が三位一体となって対策する必要があります。そのため、パイプとなる計画です。また、大雨や台風など災害時には、危機管理室が災害対策本部等を立ち上げ、市内の指揮や、市民に向けた避難情報の発令を行います。私たち土木職員はその中で「情報班」として、道路災害の状況や河川水位のモニタリングなど、災害対応に関するありとあらゆる情報収集や整理を行っています。

印象に残っていること

令和 3 年 8 月の大雨で、道路の冠水や陥没といった道路災害や、交通情報などを迅速に入手し、委員に情報共有ができたことです。建設事務所での経験を活かして、現地の写真などから得られる道路災害の詳しい情報を整理し、委員に伝達することにより、土木職員として災害対応に貢献できたという実感が得られました。毎年必ずやってくる自然災害。市役所は、住民が一番近い行政主体です。「神戸市民という気概を持って、日々業務に取り組むことに、大きな使命感とやりがいを感じています。



都市計画 未来に向けた都市づくり

村井 志帆

平成 28 年入庁
建設局西建設事務所
都市局都市計画課
未来の神戸市職員へ
私達と一緒に、神戸をさらに魅惑されるまちにしていきたいでしょう！



現在の仕事

安全・安心で快適に生活できるまちを作るためのルールである「都市計画」を定める仕事をしています。再整備を進めている都市計画の変更が必要になることもあり、ウォーターフロント、六甲山や里山・農村等、神戸のまちには様々な魅力がありますが、それぞれエリアが持つ特色を生かしながら、時代の変化に合わせたまちづくりを進めています。「都市計画」といえば行政主導で決めていくもの、というイメージがあるかもしれませんが、市民や事業者のみならず、まちの将来像について話し合い共有しながら進めていく仕事です。

印象に残っていること

全市的な都市計画の変更を担当できたことです。市民や事業者のみならず一緒に考えたまちの将来像を具体的に実現させていくために、時には全市的な大掛かりな都市計画の変更が必要になることもあり、多くの検討を重ねたり、多様な関係者との調整が必要となりますが、「神戸のまちをさらに魅力的にする」という使命感とともに大変やりがいを感じています。



幹部職員インタビュー

建設局道路工務課街路担当課長 北田 敬広

経歴
平成 12 年入庁。都市計画局計画部計画課、国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進部都市防災対策室（派遣）、都市計画総局計画部計画課、建設局グループ（派遣）、企画調整局医療産業都市構想推進室、建設局西部建設事務所、住宅都市局計画部計画課、住宅都市局計画部都心三宮再整備課
課長 建設局都心再整備本部都心三宮再整備部、都市局新都市事業部臨海開発事務所
令和 3 年から現職。※所属は当時の名称



どんな仕事かしたくて市役所に入りましたか？

20 歳の時に神戸で阪神淡路大震災を経験し、その後の神戸の街が復興していく様子を間近に見て、自分も神戸のまちづくりに関わりたい、神戸に貢献したいという思いで市役所に入りました。その思いがけない、これまで様々な職場で、様々な形で神戸のまちづくりに携わることができています。

特に印象に残っている出来事は具体的にありますか？

都市計画道路の計画と見直し、ポートアイランドのスーパーコンピュータ「京」（※現在は「富岳」）の施設計画や利用調整、都心三宮の再整備など、どの職場でもそれと印象に残る仕事もたくさんあります。生活環境、職場環境という意味では、国土交通省や理化学研究所への派遣を通じて東京で働く機会があり、外から見た神戸の印象やイメージを実感できたことが、貴重な経験として残っています。

最近の若い人を見て、いいと思うところ、苦言を言いたいところはあるありますか？

自分が入庁した時のことを思うと、今の若い人たちは早くから仕事を任せ、その仕事をそつこなし優秀だと感じます。最近コロナ禍もあり、リモートでの仕事も増えてきていますが、そういった時代だからこそ仕事を進める上で、上司や同僚、外部の人たちとの対面でのコミュニケーションを大事にしてほしいと思います。

土木職の魅力とは？

土木職として、道路や河川、水道・下水道、灌漑施設等の土木構造物をつくり、維持管理したりする仕事が多くなります。私自身、現場事務所での勤務経験を蓄めて、これまで道路関係の仕事をする機会が多かったのですが、関わった仕事が目に見え形で見えにくい、物が出ていくと達成感が得られるとともに、市民の皆さんに喜んでもらえるところが大変魅力だと感じています。

神戸市で、これから見てほしいところは？

神戸の豊かな自然、美しい街並みはもちろんのこと、震災時の経験を踏まえた人と人とのつながりや大きな施設を建てています。若い皆さんの柔軟かつ豊かな発想で、神戸のまちをもっともっと良くしていきたいです。また with コロナの時代ということで、市役所での働き方も変わりつつあります。在宅勤務やフレックスタイム制度の活用、男性職員の育児休暇取得など、働きやすい職場環境を目指して進化していますので、そういったところもぜひ注目してください。